

子宮筋腫とは??

*どんな病気??

子宮筋層内に発生する良性腫瘍です。原因は不明ですが、筋腫の発育には女性ホルモンの1つである(エストロゲン)が影響していると考えられています。

30~40代の女性に高頻度にみられる疾患です。筋腫は発生部位によって3種類に分類されています。

① 粘膜下筋腫：子宮内膜直下に発生します。子宮内に向かって発育します
② 筋層内筋腫：子宮筋層内に発育します
③ 漿膜下筋腫：子宮漿膜直下に発育します

*症状

多くは無症状で検診時に偶然見つかるケースが多いです。

<代表的な症状として>

- ・過多月経/月経痛
- ・貧血
- ・不妊
- ・頻尿/便秘 (大きな物だと腸や膀胱を圧迫する為)

*診断・検査

筋腫は多くの場合、臨床症状の問診、内診および超音波検査を行い診断されます。

- ・超音波検査 (経腹法/経膈法)

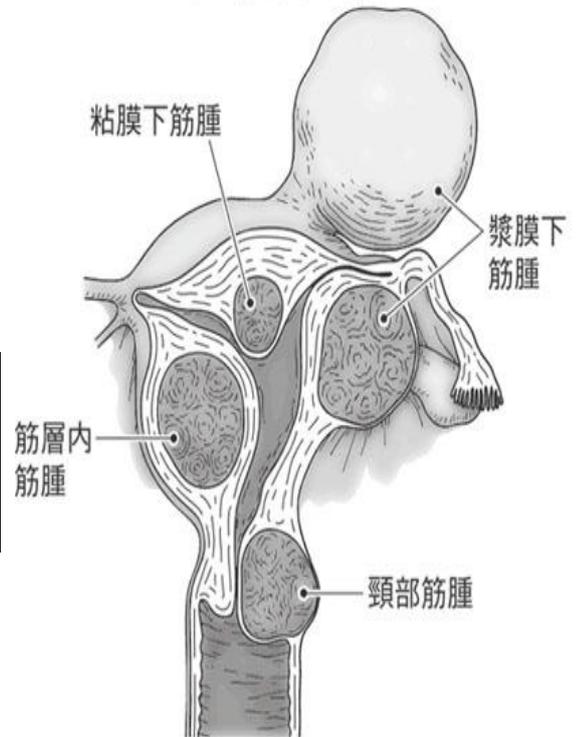
超音波検査は非常に簡便で有用な検査法です。この検査には経膈法と経腹法の2種類があり、用途に合わせて使い分けがされています。

① 経腹エコー

腹部にゼリーを塗りプローブという機械を当てて子宮の全体像を見る検査です。腹部の上で自由に機械を操作する事で、子宮と筋腫の位置関係の確認ができます。広い視野で様々な角度から観察することに優れた検査です。



●子宮筋腫発生部位



②経膣エコー

プローブを膣内に挿入して、子宮の中から直接調べる検査方法です。子宮を至近距離で観察することができるので、鮮明な画像を得られる利点があります。小さな腫瘍を見つけるのに役立ちますが、広い視野での観察に適さないため大きな腫瘍の発見には向いていません。



* 筋腫と似ている悪性腫瘍に子宮肉腫があります。肉腫は子宮内膜と筋層に発生するものがありますが、特に筋層内にできる肉腫は筋腫との鑑別が非常に困難です。その為、複合的な画像診断を用いて検査をして、又状況に応じて組織診検査を行い総合的に診断していく必要があります。

* さいごに

一般的に症状が無く、ほとんど大きさが変わらない筋腫であれば経過観察することが多いです。しかしホルモンの分泌がある年代であれば、腫瘍のサイズが大きくなっていく可能性や、痛みや不正出血等なんらかの症状が出てくる可能性はゼロではありません。その為肉腫等の悪性疾患を見落とさないためにも定期健診を受診することをおすすめします。

